



モバイル・ギビング (Mobile Giving) ～ ソフトバンクモバイル「かざして募金」の取組 ～

□ 概要

「かざして募金」は移動通信事業者のソフトバンクモバイル株式会社が、2014年3月から提供を開始したスマートフォン（以下、スマホ）を用いた寄附プラットフォーム。無料アプリを活用し、寄附金額と寄附先を選んで社会貢献活動を行う非営利団体等に寄附する形となっている。

□ 寄附手法の特徴

無料アプリ「かざして募金」を起動したスマホを、登録された寄附先団体の看板やポスター等にかざし、内蔵カメラによる画像認識をすることで、その団体への寄附画面が表示される。その後、寄附金額を100円、500円、1,000円、3,000円、5,000円、10,000円から選択する等の簡単な操作で寄附することができる。ソフトバンクのスマホユーザーの場合、その寄附金は携帯代金と一緒に請求されるとのこと。ソフトバンク以外のユーザーも同アプリを使用できるが、寄附金額の選択後、クレジットカードの番号を入力する形での寄附となる。

また、各登録団体のウェブページ内の寄附画面から直接寄附を行うことも出来る。この場合も、ソフトバンクのスマホユーザーは携帯電話利用料金と一緒に支払うことができ、それ以外のユーザーはクレジットカード決済を用いる形での寄附となる。

□ 寄附先

寄附は、ソフトバンクモバイルが規定した審査に通った団体の非営利活動に対して行われる。ここで非営利『活動』としているのは非営利団体ではなくても、その活動が非営利であると認められた場合にも対象となるためとのこと。認定NPO法人や公益法人、または任意団体等についても一定期間の実績がある非営利活動が想定されている。申請後の一次審査は、gooddo株式会社に委託している。ユーザーから寄附金を預かって資金提供しているという性質上、審査では使用用途がはっきりしている点と、活動についてホームページを用いて情報公開している点等の要件を特に重視しているとのこと。

団体は書類審査に通った場合、利用料金として基本料（月額900円（税抜））プラス利用料（寄附金総額の1.8%（税抜））を支払うこととなっている。ただし、集まった寄附金総額が税込みの基本料（972円）を下回る場合には、基本料は無料としているとのこと。また、表面にかざす対象になる各団体情報や活動情報、裏面に「かざして募金」の紹介を掲載したチラシ1,000部を各登録団体に無料で提供している。

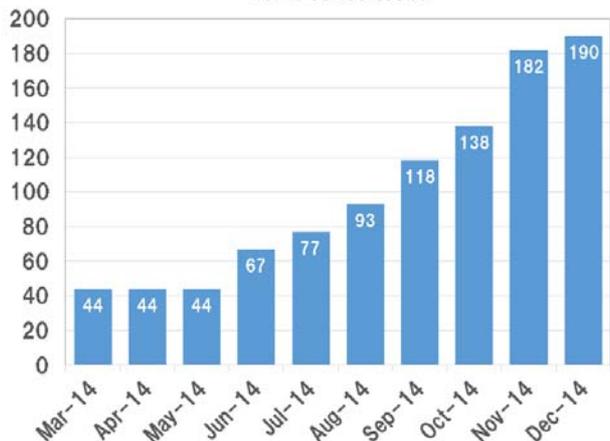
なお、寄附先団体にはソフトバンクモバイル経由の寄附であるとはわかっていても、具体的に誰からの寄附かはわからない仕組み（したがって、寄附者にも、寄附先団体から領収書の発行等はない）。



累計利用団体数

累計利用団体数は、2014年12月時点で約190団体。今後も「かざして募金」未登録団体への個別訪問や、HPを使った告知、SNSの活用といったWEBによる周知に加え、説明会の開催等を通じて利用団体の増加につなげて行く予定とのこと。

累計利用団体数



今後の課題等

利用団体数増加のため、前述した方法を含め、より多くのNPO法人に周知するためにどのような方法があるか検討中とのこと。また、現時点では寄附金の領収書は発行されないが、今後領収書の発行できるようにシステムの改善を図っているとのこと。

「かざして募金」

サービス開始	2014年3月5日
提供主体	ソフトバンクモバイル株式会社
所在地（本社）	東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング
URL	http://www.softbank.jp/corp/csr/donation/instance_01/

(2014年12月作成)

内閣府NPOホームページ：活動事例集